

始時代の状態を維持し、以て現今に及べり。

嶺の西南面に發達せる「アリヤン」種は、南及西に遷徙し、遂に印度に入り、阿富汗、波斯、亞刺比亞に移り、歐洲又は埃及に分布し、各、特殊の發達及文明を遂げたり。而して風土氣候の感化に因り、其皮膚或は白皙と爲り、或は黝黒に變じ、一見異人種の如き相貌を成せり。

又兩大人種觸接點を考ふるに、「アリヤン」種の西北方に移動せる者は、東西交通に便なる天山以北に於て、適、蒙古族と混血し、土耳其人と爲り、土耳其機斯坦人と爲り、「スラブ」族、哈薩克族、「キルギス」族等と爲れり。

新疆地方は本章上文に述べし如く、漢族が東方に遷徙して殆んど空虚なる時、蒙古種と混血せる「アリヤン」種が天山の罅隙を越えて進入し、遂に其の占有する所と爲り、以て現状の如くなるに至れるものとす。

以上は歴史上の事實即ち漢、蒙古、亞刺比亞、土耳其及「スラブ」等各民族の勃興及遠征等に伴ふ混血と移住を問題外とし、單に自然より來れる分布を述べたるものとす。